

決算語録

インフラ整備 進み利益維持

「消費税増税の影響は厳しかったが、利益は底割れしなかった。インフラ整備が進み、

少々売り上げが落ちて出店を第一義に標準化も利益を維持できる」と単純化を通じた結果、「地域ごとの商品きた」と自信を見せる構成の違いなど個店の強さが出なかった」と美会長兼社長。

一方、5カ年計画最終年度の2015年3月期決算では目標の売上高500億円を追求し、商品構成を大幅に変えていくと力を入れた。



訪問調剤強化 在宅医療担う

「医療体制の見直しや在宅医療と介護の連携強化など、ヘルスケア業界は大きな転換期にある」と指摘するのはトーカイの小野木孝二社長。



両分野で事業展開する。当社にとっては、総合ヘルスケア企業として企業価値の最大化を図る好機」と捉え、企業の合併・買収(M&A)にも積極的に取り組む。現在115店舗中63の店舗で展開し、売り上げは前期比40%増を果したが、一歩も引かない。まだまだ足りない」と供体制をとし、全店舗で事業化を整える考えだ。